

神奈川県作業療法士会ニュース161号 目次

- 1 巻頭言
- 2 総会報告
- 3 会員へメッセージ 顧問就任にあたって
- 4 学会開催報告／平成25年度 理事・役員紹介
- 5 理事会抄録
- 6 各部からのお知らせ
- 8 ALSアンケート集計報告
- 12 神奈川県保健医療計画改訂素案／パブリックコメントの結果

- 13 対外広報班活動報告
- 14 研修会報告
- 15 開催報告／福祉用具相談支援システムの紹介
- 16 SIG紹介
- 17 研修会案内
- 19 事務局より重要なお知らせ／求人広告
- 20 会費納入方法変更について／編集後記

巻頭言

会員へメッセージ

——会長再任にあたって

一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長 渡邊慎一



第5回定期総会（H25年4月21日）で新たな執行体制が承認されました。役員定員を超える立候補があるなかでの改選選挙の結果であり、私を含め選任された役員はこれまで以上の重責を感じながらの船出となりました。本会は、会員の資質の向上のための研修会・講習会・情報提供等を行いつつ、社会的な責任を担う作業療法士の団体として、国・県・市町村などの行政機関、医師会、看護協会、理学療法士会等々の関連団体との連携を図り、神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。これまでも毎年、各部局で新しい会員が活躍していますが、今回の選挙は、臨床経験年数が少ない方々の力を本会の運営にもっと活かすべきことを再認する機会となりました。会員の皆様においては本会の運営に積極的に参加していただければ幸いです。

高齢化、少子化、経済状況の変化等に伴い、わが国の社会保障はさまざまな改定が予定されています。このなかで直接的に障害者や高齢者の自立的な生活を支援できる作業療法の役割がより一層重要になることは確実です。本会の第1次中・長期計画（H23年～H26年度）が来年度で終了します。今年度中には第2次中・長期計画を立案し、今後の行動

計画を明示したいと思います。また、来年（H26）6月18日～21日は、第48回日本作業療法学会と第16回世界作業療法士連盟大会が、横浜市のみなとみらい地区を主会場として同時開催されます。神奈川県内の開催であり、本会としても関東近隣の地方組織と連携し、大会の企画・運営に参画しています。開催まで1年となり、急ピッチで準備を進めなければいけません。これには、会員の皆様の協力が不可欠です。ご協力をお願いいたします。これを機会に、全世界の作業療法士との交流を深めるとともに、本会の組織力並びに結束力が向上することを期待致します。



総会にて開会の挨拶をする渡邊会長

(一社)神奈川県作業療法士会 第5回定期総会 報告
—会長選挙の結果報告や2013年度予算案などが可決—

第14回神奈川県作業療法学会閉会后、第5回定期総会が開催され、活発な論議がされました。正会員総数1798名のうち委任状数701名、出席正会員数60名でこの議決権の総数は761名となり正会員数の3分の1以上の議決権数となり、総会は成立しました。委任状の提出をはじめ、会員の皆様には審議のご協力ありがとうございました。

第1号議案 2012年度（平成24年度）事業報告

第2号議案 2012年度（平成24年度）決算報告ならびに監査報告

第3号議案 一般社団法人作業療法士会学会規程
(案)の制定について

第4号議案 2013年度（平成25年度）事業計画
(案)

第5号議案 2013年度（平成25年度）予算（案）

審議は第1号議案～第5号議案に関して行われ、すべて承認されました。

第5号議案において、フロアから以下3つの質問が
 挙がりました。各担当理事からの回答の要点をまとめ
 て報告します。

Q1. 予算(案)の現職者研修の収入について、昨年度決算では138万円の収入があったにもかかわらず、今年度も昨年同様90万の収入見込みの理由はなぜか？(自宅会員：山本氏)

A1. 選択研修4領域のうち、2領域を隔年で開催している。昨年度は身障領域と高齢者領域を行い、予想より多くの参加者があったため収入増となった。今年度は発達領域と精神科領域の開催を予定している。過去の参加者数実績から、今回の予算を組んだ。(奥原教育部担当理事)

Q2. 会費納入方法をコンビニ振り込みに変更したばかりなのに、何故銀行引き落としに変更するのか？変更理由を明確にしてほしい。長野県士会では督促の手間と予算がかかり、今年度からコンビニ振り込みに変更したと聞いた。情報収集はしているのか？ また、銀行口座引き落としになると個人情報を提供することになる。具体的な保管の扱い方法など、どの程度対策を検討しているのか教えてほしい。（自宅会員：山本氏）

A2. コンビニ振り込み手数料の場合、1名あたり150円、銀行引き落とし手数料の場合、1名あたり90円となる。この負担額の差が変更理由のひとつとなった。また一度引き落としにすると、毎年確実に引き落とせる。振り込み用紙を郵送する費用や督促の費用（年間計40万円以上）も削減できる。

他県士会の情報として長野県士会の状況は把握していなかったが、神奈川県士会では督促含め最大年間4回振り込み用紙を送っている。そのための経費も余分にかかっている。銀行振り込み手続き作業は現在800名程度終えている。残り800名程度に督促を送ることを考えても、今までより手間はかからなくなる。

個人情報に関しては、県士会事務所全体が警備会社と契約している。個人情報はその事務所に鍵のかかるところに保管している。

Q3. 個人情報事故等で悪用された場合の補償についてどのように考えているのか（自宅会員：山本氏）

A3. 引き続き検討して、早々に結論を出し、会員の皆様へ報告します。(渡邊会長)

—会長選挙の結果報告—

事前投票を含め、総会当日15時に投票は締め切れ、学会会場の別室にて事務局員立会いのものと選挙管理委員会にて開票作業が行われました。遠藤毅氏（茅ヶ崎新北稜病院）、渡邊愼一氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）両氏による選挙となりました。議案審議後、選挙管理委員長の木村達氏（鶴巻温泉病院）より報告が以下のようにあり、新会長と新理事・監事が承認されました。また今期から、長谷川元氏（自宅会員：元神奈川県士会会長）が顧問として就任予定であることも紹介されました。

ご出席頂いた会員の皆様ならびに総会役員・選挙管理委員の皆様たいへんお疲れ様でした！（文責：澤口）

＜会長選挙の結果＞

遠藤 毅氏 (茅ヶ崎新北陵病院)

168票

渡邊 慎一氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）457票

当选



副会長の任務を終え、挨拶をする佐藤先生



総会には、多くの方に参加いただきました。

会員へメッセージ ——顧問就任にあたって

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 顧問
長谷川 元

この度渡邊慎一会長より「顧問」就任の指示を頂き、身に余るご配慮とその重責を省みず、拝受致し、いささか戸惑っております。顧問の設置は定款の中には「必要に応じておくことが出来る」とありますが、神奈川県士会としては初めてのことでありその責務は大変大きいものと認識いたしております。

神奈川県作業療法士会が発足いたしましたのは昭和56年の11月17日、日本作業療法士協会がその年の3月19日に厚生省より法人許可書受領、当時の矢谷令子会長の熱心な働きかけと、協会の創立以来の長年にわたる地道な活動、それに、その年昭和56年がWHOの「国際障害者年」というタイミングが一致した事が結果を生み出すことにつながったのでしょう。

我が国において理学療法士、作業療法士が誕生したのは昭和40年に医療専門職としてその身分制度が法制化された（法律第137号）。昭和41年に第一回の国家試験が行われ20名の作業療法士が誕生した。昭和41年9月25日に国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院において設立総会が20名の会員構成で発足した。

昭和45年11月日本作業療法士協会に地方組織としての支部制度が発足、5月より動き始めた。神奈川県は中部支部に所属し、長野、静岡、山梨、神奈川の4県で支部を構成した。

私が作業療法士協会の活動に関わるようになったのは昭和44年からで、本部、中部支部、県士会等いろいろな分野の活動に参画し今日に至っている、その間の体験は貴重な示唆を与えてくれた。この経験を次世代に継承し、21世紀は作業療法の時代の実現を目指した裾野を広げる活動を一会員として心掛けて来つもりです。

顧問の役割は県士会の活動が適正に運用されているか、県民のニーズにそった活動、関連団体との交流、時代のニーズに立ち遅れないための取り組み、それに基づいた意見を述べ、法人として社会的な責務を果たすための役割を自覚し作業療法、県士会員の利益を最大限に尊重し必要に応じて意見を述べる役割であると認識している。

現在の会員数1800名弱（3月末）、組織率は専門職集団ではトップクラスと自負している。会員の専門職意識の高まりとして評価したい。

しかし、会員は組織人としての自覚を持っているのだろうか。個々の主張や行動が優先され、あまり組織的にまとまった集団とは感じられない。ある識者が「作業療法士は個々人が独自性を持った仕事をしているのだからそれが作業療法の個性なのだろう」といわれたことがあり、自分なりに納得したこともある。組織人としての最低限の義務は、①会費の納入、②会議には出席する、③刊行物、特に機関紙には目を通す、といわれている、その上で組織決定には従い行動する。

組織運営は個々の会員のニーズの実現を最大限に尊重し、それが結果として国民全体の「健康と生活」向上に寄与するものでなければならない、専門職としての自覚を持つ以上、①その業務はその職種以外のものは行うことが出来ない、②日々の活動を常に発展させる努力と能力、③後継者を育成する能力、以前私は養成施設で後輩の育成に携わった経験がありますが、臨床実習の場を確保するのに大変困難した事がある。現在もそうなのだろうか。臨床に携わっていると日常の業務、雑用に追われ、責任の重い臨床実習の指導は非常に厳しくしかも経験が乏しければ自信も持てない、文字通り苦痛の連続かもしれない。しかし、作業療法士の育成は作業療法士しか出来ないことであり、会員一人一人が乗り越えなければならない課題ではないでしょうか。

以前わが国には「大和魂」なる国民共通の思想があった。これはいわゆる軍事思想で「勝つまでは欲しがりません」「国のために命をささげる」といった犠牲的な我慢を強いる思想であった。現在はそれが否定され国民共通の思想はない。同じ敗戦国のドイツには「ジャーマンスピリッツ」という共通の思想があり、それが統一ドイツを実現したといわれている。イギリスは紳士的な思考、フランスは良識、アメリカは自立と自由、これらがそれぞれの国の人々の心の中に誇りに近い感情として根付いているといわれている。せめて作業療法の世界に自然発生的に共通の思想が育つ環境を醸成させたいものである。専門職としての誇りと質の向上に大いに期待したい。

組織の急速な拡大の中での三役、理事、役員の方々の活躍、心より感謝申し上げます。

第14回神奈川県作業療法学会 開催報告

国際医療福祉大学 学会長 菅原洋子

去る4月21日季節はずれの寒さと雨の中、小田原市にある国際医療福祉大学にて4年ぶりに県学会が開催されました。

テーマは「つなげよう過去から未来へ」として、特別講演とシンポジウムを企画しました。特別講演では浅井先生の穏やかな語りで作業の意味と意義をしっかりと伝えていただきました。またシンポジウムでは40数年にわたる身体、精神、発達の各領域での状況や制度の変換に伴う「作業療法のお仕事」を具体的に知る機会を得たことは多くの世代にそれぞれの意義があったと思います。そして多くの聴取者が長時間にもかかわらず、じっと聞き入っていたという事実からも集まった方々の熱意が伝わりました。ランチョンセミナーへの参加者は昼食も食べずに受講する人が多く自助具への関心の高さを知ることができました。午前と午後の2回に分けておおよそ50題近くの演題発表があり、会場からは若い人々の緊張が伝わってきて未来の神奈川の力を感しました。

実行委員44名と学生69名で参加者人数371名をお迎えしての学会でした。何かと不行き届きなことがあったと思いますがお許し下さい。事前登録をしていただきました会員の方々はじめ託児室をご利用頂きました親子など多くのご参加にほんとうに感謝いたします。



菅原学会長



特別講演：浅井先生



実行委員



お手伝いしてくださった国際医療福祉大学の学生さん達

理事会 報告

平成24年度 第6回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成25年3月14日（木）19:00～20:30

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、浅井、錠内、奥原、木村、小峰、作田、鈴木、富山、中西、野々垣、原、福留、三浦、澤口

委任理事：机 出席監事：清宮、長谷川

その他：沼田（福祉用具委員会）、金山・一志（事務局書記）

●事務局（澤口事務局長）

1) 渉外関連

- ①医療専門職連合会 通常総会出席：渡邊、錠内、小峰、澤口
日時：平成25年3月27日(水)18:30～20:30
会場：横浜市技能文化会館8階大研修室
学術講演会「医療におけるマネジメント～各部門から考える～」

講師：神奈川県臨床工学技士会会長 小林剛志先生

- ②平成24年度神奈川県エイズ対策推進協議会総会

日時：平成25年3月25日(月)14:00～16:15

会場：神奈川県庁本庁舎大会議場

出席予定：長谷川監事

- ③神奈川県病院協会会長 渡邊史朗先生通夜告別式

日時：平成25年2月19日20時 ⇒ 弔電にて対応

2) 後援名義使用依頼

- ①平成25年4月13日14日開催 脳損傷者ケアリングコミュニティ学会
⇒承認

- ②平成25年5月12日開催 神奈川県保険医協会

第22回在宅医療介護セミナー後援・PR依頼 ⇒承認

3) 庶務関連

- ①学術誌「神奈川作業療法研究2巻1号」の独立行政法人

科学技術振興機構への寄贈依頼⇒学術部に対応依頼

- ②学術誌「神奈川作業療法研究2巻1号」複写依頼 ⇒学術部と協議し、事務局から論文を発送した。次回からはISSN（国立国会図書館）からの複写も可能と連絡する。

4) OT協会関連

- ①協会広報部よりWEB会議導入について協力をお願い
⇒広報部に対応依頼

- ②協会事務局より平成24年度士会現況調査記入の依頼
⇒締め切りが2月まで 対応済み

- ③都道府県OT連絡協議会 関東甲信越ブロックの再編案について⇒三役会にて検討中

- ④WFOTの大会運営委員会より、大会運営ボランティアについて

期間中1日あたり約60人のボランティアが必要。⇒県内のOT養成校に協力を打診する。学長、学科長あてに依頼公文書を送付していく。

5) 第5回定期総会について

日時：平成25年4月21日(日)16:55～17:40

会場：国際医療福祉大学小田原保健医療学部B-502 / 503

講義室 総会の流れを確認。

6) 検討事項

- ①第4回訪問リハビリテーション地域リーダー育成会議参加者の推薦（1名）

日時：平成25年5月16日17日

会場：タイム24ビル ⇒ 出席：木村理事に依頼する

- ②役員人事

立候補結果を確認。理事と監事は定員を満たしていない為、理事会推薦で承認する。

また、顧問の委嘱について長谷川監事に依頼した。

●財務部（野々垣理事）

- 1) 平成25年度予算案について検討 ⇒ 承認

●学術部（福留理事）

1) 講習会報告

- ①分野別講習【精神障害分野】『実践報告会』

講師：村岡和也氏、佐藤昶映子氏（共に作業療法士）

日程：平成25年1月26日(土)

会場：横浜YMCA学院専門学校 受講者：15名

- ②職場管理者養成講座『臨床でのリスク管理について』

講師：中村浩明氏（東京北社会保険病院 理学療法士）

日程：平成25年2月9日

会場：IMS横浜国際看護専門学校 受講者：56名

2) 研修会予定

- ①分野別講習【身体障害分野】『CIセラピーの基礎』

講師：田邊浩文氏（作業療法士） 日程：平成25年3月17日

会場：横浜YMCA学院専門学校 受講料：2,000円

受講予定者：70名（応募は約90名）

3) 学術誌発行について

年度内発行の予定だったが、4月になる可能性あり。

●教育部（奥原理事）

1) 研修会報告

- ①現職者選択研修（身体障害領域）

日時：平成25年2月3日(日)

会場：ウィリング横浜 受講者：95名

- ②現職者選択研修（老年障害領域）

日時：平成25年2月10日(日)

会場：ウィリング横浜 受講者：104名

③現職者共通研修

日時：平成25年2月24日(日) 会場：ウィリング横浜

『事例検討』受講者：46名 『事例報告』受講者：52名

2) 検討事項

- ①SIG団体承認申請（2件）：申請条件に問題なし

・脳外傷の作業療法研究会 ⇒ 承認

・川崎市南部地区リハビリテーション連絡会 ⇒ 承認

●広報部（小峰理事）

1) 対外広報班

- ①ケアマネ学会発表・ブース出展参加について

日時：平成25年2月3日(日) 会場：海老名

『急性期リハビリテーションと地域連携』を発表

- ②ラジオ出演（ラジオ日本『峰竜太のミネスタ』『すこやか介護』のコーナー）予定

日時：平成25年2月21日(木)『車いすの選び方』について

- ③日本消化器がん検診学会への医療専門職連合会での各士会によるブース出展

日時：平成25年3月2日(出会場：横浜共済ホール

相談ブースの出展

- ④相模原さくら祭りへのブース出展について

日時：平成25年4月6日7日 会場：相模原市役所通り

健康ブースの出展

- ⑤作業療法グッズの作成：ペットボトルオープナーの製作を予定

2) その他

- ①神奈川県医療専門職連合会広報誌の記事執筆について

会報（No43）「各団体の専門職としての取り組み」；認定・専門作業療法士制度について⇒教育部奥原理事に依頼済み

- ②OT協会より依頼

事務局の報告にもあったように、ブロック内の広報担当者としてWEB会議の開催を検討中。参加担当者を選定中。予算案への影響もあるので情報を確認する。

●地域リハビリテーション部（木村理事）

- 1) 生活行為向上マネジメント研究事業（OT協会）への協力

2月22日23日に横浜市福祉サービス協会の職員（約287名）を対象に生活行為向上マネジメントの講習会を開催。3月9日最終ミーティングがあり、3月19日に報告書が完成予定。

※紙面の都合で一部割愛・・・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）

各部からの報告

ウェブサイト管理委員会

○手段いろいろ！

メールマガジン：http://kana-ot.jp/update/from_kana

Twitter：<http://twitter.com/kaotwebkan>

Facebook：<http://www.facebook.com/kaotwebkan>

よこ太：思い出すなあー新人だった頃。

ハマ子：あんたは今も新人類じゃないの？

よこ太：「新人類」って言葉、死語だよ。年齢ばれるよ。

ハマ子：うっ...あんたが変なこと言うからよ（怒）

よこ太：二人とも若かったよねー

ハマ子：今も若いわよ。で、なんなの？

よこ太：うん、ウェブ管さんからね、この記事として「県士会サイト」の新着情報を得る方法を取り上げてくれて、リクエストが来たの。

ハマ子：そっか、新人さんに知ってもらうためにだね。珍しく気が利くわね。

よこ太：ではさっそく。一つ目はあー

ハマ子：kanaからの手紙！これはメールアドレスを登録しておくと、更新とともに「新着お知らせメール」

が届きます！

よこ太：次はあー

ハマ子：Twitter！利用している人はぜひフォローを！

よこ太：最後にいー

ハマ子：Facebook！利用している人は「いいね」を！
Twitterとともに新着記事を発信しています。

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

平成25年3月 アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 21066件
- 2位 講習会・研修会 14194件
- 3位 求人情報掲載板 9376件
- 4位 必見！OTのすごい技・アイデア集 9041件
- 5位 月刊よっしゃーワールド 3707件

平成25年3月 県士会ブログランキング

- 1位 おやじOTたちのソネット 348件
- 2位 ウェブ管的知恵袋 310件
- 3位 つぶやきshow!! 198件

更新件数：34件 訪問者延べ数：17971人

Kanaからの手紙発行回数：14回 登録者：174名

Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー227名

地域リハビリテーション部

すでに4/21の総会で可決いたしました今年度の地域リハ部の活動内容を掲載いたします。

《活動内容》

<研修担当>

- (1)「第3回 OT・PSW合同研修会」8月or 9月開催
- (2)「第4回 訪問リハビリテーション実務者研修会」8月開催
- (3)「第3回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」12月開催
- (4)「第1回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダー研修会」2月開催
- (5)「生活行為向上マネジメント講習会」開催日未定

<普及担当>

- (1)認知症関連スキルの普及（インタビュー2回）
- (2)難病（ALS）支援スキルの普及（年2回の講習会など）
- (3)就労支援の情報をウェブサイトに掲載
- (4)特別支援学校を中心としたタウンミーティング
- (5)訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）

<調査担当>

- (1)障がい者団体の活動調査
- (2)IT活用による施設間連絡の可能性の調査
- (3)「認知症初期集中支援チーム」の情報収集

《訪問リハ実施施設の掲載》

既にご存じの方も多いと思いますが、県士会ウェブサイト「地域リハの”わ・輪・和”」というコンテンツを掲載しています。<http://kana-ot.jp/wpm/cbr/>

その中に”訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

昨年度から作業療法士の所属施設のみならず、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載するように適用範囲を拡大いたしました。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載していない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

（文責：地域リハビリテーション部 木村）

教育部

○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今年度最初の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」です。

今春作業療法士国家試験に合格、就職された方、おめでとうございます。迎えた側の方も業務拡大や充実に向けて新たに動き始めたところではないかと思います。

さて、このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。その情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されますので、しっかりアンテナを張っておいてください。

今号では、今年度の生涯教育制度関連の研修会をご案内いたします。

1. **現職者共通研修**：全10テーマ、生涯教育制度の必須基礎研修
 2. **現職者選択研修**：領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度必須基礎研修で、毎年2領域開催
- ＊神奈川県士会では、一年間で2つの必須基礎研修が

修了できるよう企画、開催しています。

＊7月号以降の県士会ニュースにて開催情報を順次ご案内します。

3. **事例報告登録制度研修会**：事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。OT協会学術部のご協力により開催する予定です。

その他、研修会等参加証明書、県士会の役員や部員・委員などの県士会裁量ポイント、「作業療法」掲載論文・事例報告登録制度への登録事例等のポイント化手続きは県士会にて随時受付中です。なお、基礎研修修了、認定作業療法士、専門作業療法士の申請はOT協会です。ご不明の点はお連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

また、生涯教育制度は、4月より改定されています。OT協会の機関誌、ホームページをご覧ください。ご不明な点は県士会教育部でもお答え致します。何でもお問い合わせください。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）

045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

平成25年度 理事・役員紹介

第14回神奈川県作業療法学会閉会后、第5回定期総会が開催されました。会長と新理事・監事が承認され、平成25年度の体制が決定しましたのでご報告いたします。

会長

渡邊 慎一 （横浜市総合リハビリテーションセンター）

理事

内山 博之 （横浜リハビリテーション専門学校）
奥原 孝幸 （昭和大学保健医療学部）
作田 浩行 （昭和大学保健医療学部）
澤口 勇 （藤沢病院） 兼事務局長
錠内 広之 （日本鋼管病院） 兼副会長
鈴木 孝治 （国際医療福祉大学小田原保健医療学部）

鈴木 久義 （昭和大学保健医療学部）
出口 弦舞 （国際医療福祉大学小田原保健医療学部）
中西 浩司 （北里大学東病院） 兼副会長
沼田 一恵 （横浜らいず）
野々垣 睦美 （クラブハウスすてっぷなな）
福留 大輔 （横浜宮崎脳神経外科病院）
三浦 慈子 （国際医療福祉大学小田原保健医療学部）
吉本 雅一 （湘南鎌倉総合病院）

監事

清宮 良昭 （自宅会員）
浅井 憲義 （北里大学）

顧問

長谷川 元 （自宅会員）

「コミュニケーションおよびリハビリテーションに関するアンケート」実施

2013年2～3月に日本ALS協会神奈川県支部（以下「神奈川県支部」）の会員を対象にアンケート調査を実施いたしましたので集計結果をご報告いたします。

調査名：コミュニケーションおよびリハビリテーションに関するアンケート

調査目的：(1) コミュニケーションの状況を把握し当会の事業について検討する

(2) リハビリテーションの状況を把握し当会の対応を検討する

(3) 関係機関へ情報提供をおこなう

調査期間：2013年3月末日

対象：日本ALS協会神奈川県支部会員でありALS当事者

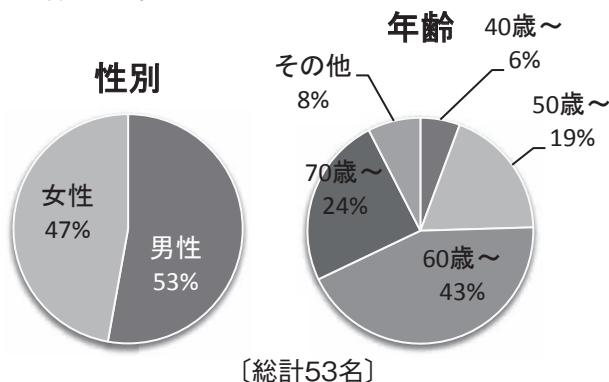
結果の開示方法：神奈川県支部および当会発行の機関誌もしくはウェブサイトにて結果を報告

注1）設問5～7はパソコンボランティア団体へのコミュニケーション支援の啓発普及を意図しているものです。

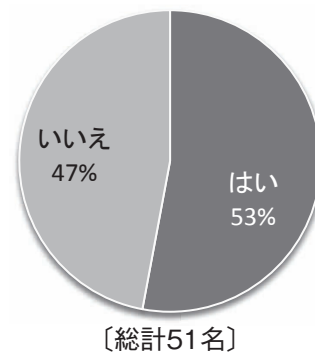
注2）集計結果に対する考察は本報告には掲載いたしません、今後の県士会事業へ反映いたします。

（文責：地域リハビリテーション部 山道、木村）

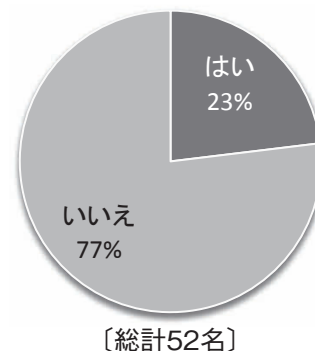
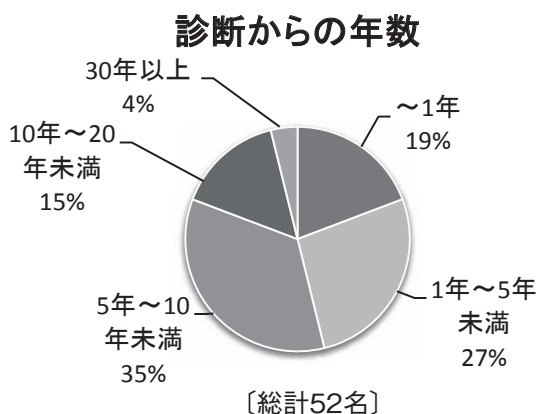
【設問1】 ALS当事者のプロフィールについてお聞かせください。



【設問2】 現在、コミュニケーション手段で困っていることがありますか？

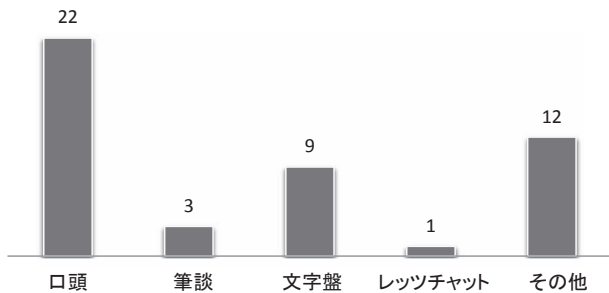


【設問3】 現在、コミュニケーション手段としてパソコン（伝の心も含む）を利用していますか？



【設問4】 設問3で「いいえ」と回答した方のみお答えください。

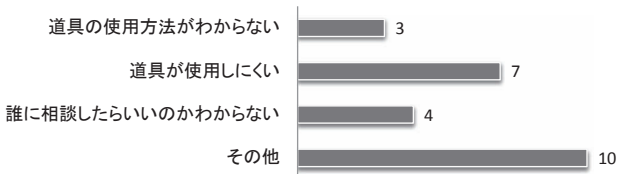
①現在のコミュニケーションの方法はどのようなものですか？（複数回答可）



その他

○アイコンタクト ○口と目の表情 ○一方的伝達 ○指文字 ○口文字 ○カキボン ○コミュニケーション不可
○聞き手が口頭で質問 ○瞬きが弱いので判別しにくい
○マイクビーム

②コミュニケーションの方法について何か困っていることはありますか？（複数回答可）



その他

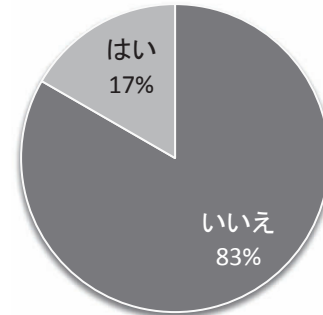
○呂律が回らない ○事前に学習できない ○伝の心試したが不適応 ○時間がかかり疲れてしまう ○デモ期間が短い ○認知症でコミュニケーションそのものが困難 ○気力が衰え習熟意欲が低い
○どの段階で導入するのがいいかわからない ○脳波スイッチ練習中。精度が上がらない ○スイッチ不適応 ○声が小さくなり聞き取りにくい。易疲労性

【設問5】 設問3で「はい」と回答した方のみお答えください。

①パソコンを利用するにあたって何か困ったことはありますが？ご自由に記載ください

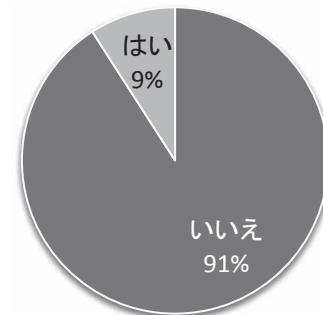
○スイッチ入力困難 ○スイッチ入力が困難
○キーボード操作がしにくい
○時間がかかりすぎて疲れる。センサーのセットがうまくできない日がある。
○スイッチの変更がうまくいかない ○疲れることが多くなった。時間がかかる ○パソコンの不具合
○易疲労性 ○フリーズする ○ソフトが使いにくい ○今後、PCが使用できるか心配

②パソコンボランティアをご存知ですか？



〔総計12名〕

③パソコンボランティアを現在利用している または 利用したことがありますか？



〔総計11名〕

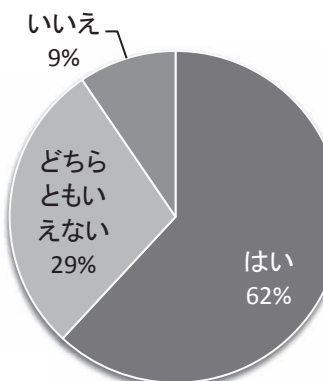
【設問6】 設問5-③で「はい」と回答した方のみお答えください。

パソコンボランティアで貴方の悩みは解消できましたでしょうか？

〔回答なし〕

【設問7】 設問5-③で「いいえ」と回答した方のみお答えください。

パソコンボランティアを利用したいと思いますか？



〔総計21名〕

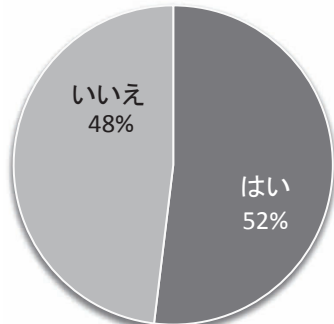
【設問8】 現在、コミュニケーション以外で一番のお悩みやお困りのことはなんですか？



その他

○息切れ ○家族の自由な時間が取れない ○介護者の不足
○寝返りに1時間ごとに起こされる
○夜間の排泄寝返り ○ヘルパーの不足 ○生きる目的を見失う
○入浴 ○家族との不和
○痰の吸引 ○介護できなくなった時にどうすれば？ ○ヘルパー不足
○介護負担 ○認知症
○呼吸器の準備

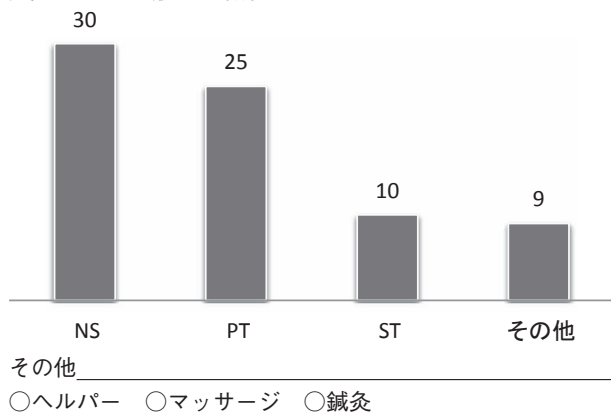
【設問9】 現在、作業療法士の支援を受けていますか？



〔総計52名〕

【設問10】 現在、作業療法士以外のリハビリテーションの支援を受けていますか？

受けている場合は職種もお答えください。

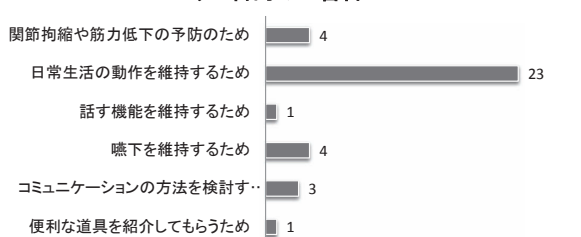


【設問11】 リハビリテーションを利用している目的はなんですか？

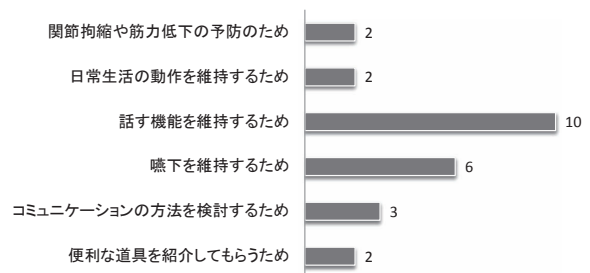
リハ目的の一番目



リハ目的の二番目



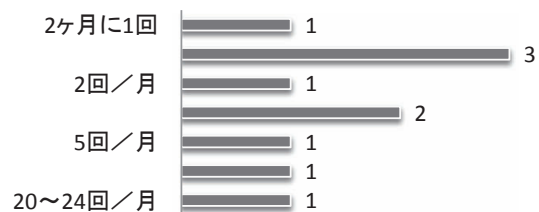
リハ目的の三番目



【設問12】 現在のリハビリの回数は？また、どのようなリハビリを受けていますか？（複数回答可）

①回数

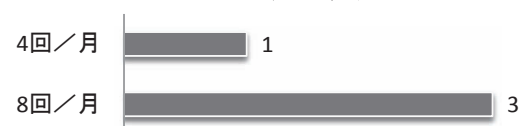
外来



訪問



デイケア

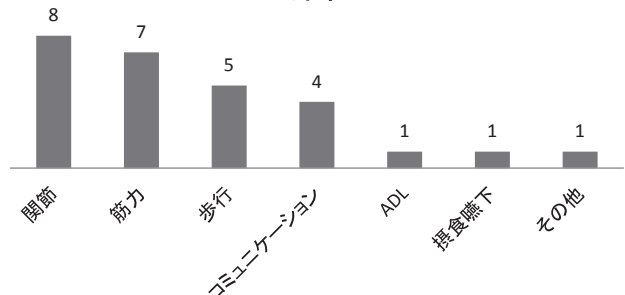


デイサービス

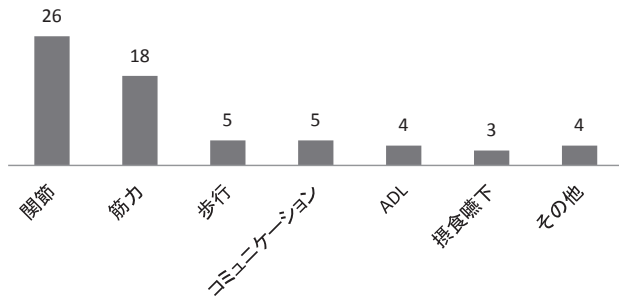


②内容

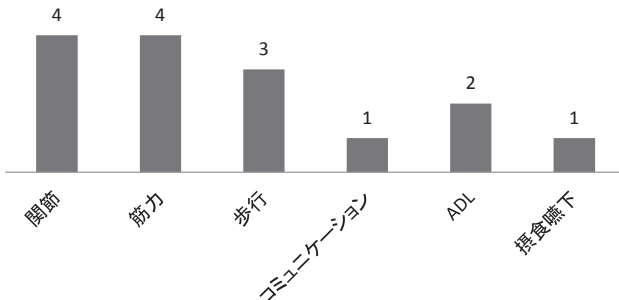
外来



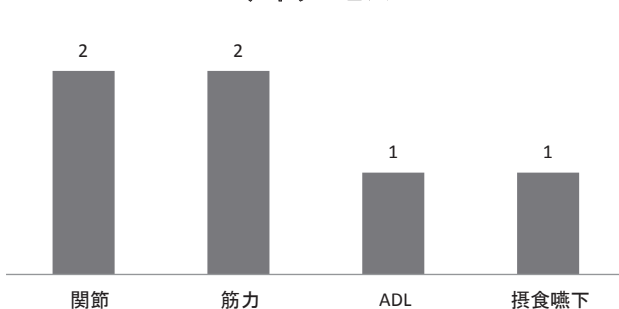
訪問



デイケア

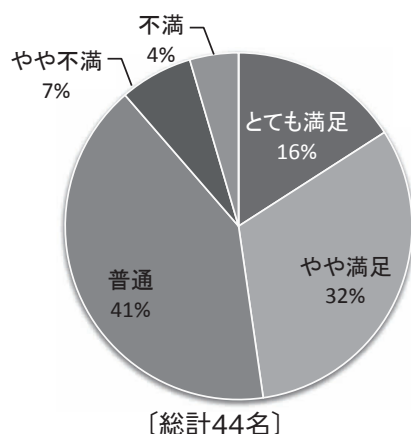


デイサービス

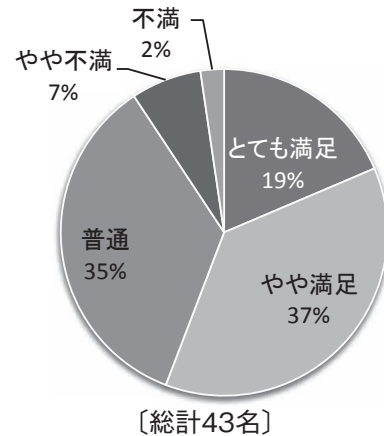


【設問13】 現在のリハビリテーションの回数や内容に満足していますか？

①回数



②内容



【設問14】 その他、コミュニケーションに関することやリハビリテーションに関することでお悩み又はご要望があればご記入ください。

- ☐ 筋肉の痛みに対するリハビリが欲しい
- ☐ 文字盤の指導
- ☐ ヘルパーがマッサージ禁止なので困る
- ☐ 認知障害を併発し、意欲に乏しく新しいものに拒否がある
- ☐ 『リルテック』の服用状況がわかれば教えてほしい（何%くらいの患者が内服しているか）
- ☐ ナースコールを検討中
- ☐ 地域に訪問のPT／OTがない
- ☐ 文字盤で長い文だと読み取れずにストレス
- ☐ 訪問リハがない
- ☐ レスパイトのときのみリハビリを受けている
- ☐ 上肢のリハビリを受けたい
- ☐ 意欲低下に対するアプローチ
- ☐ リハビリの効果が疑問
- ☐ 時間的余裕がない
- ☐ windows7のオペナビについて知りたい
- ☐ 仕事に行けなくなった場合どうするか・・・
- ☐ YesNo判定機の早期開発
- ☐ 硬直が出る
- ☐ 声が出なくなった時が不安
- ☐ 認知症を併発しており、新しい装置の導入が困難。
- ☐ 呼吸器の使用法。リモコンや呼び出しボタンの代替方法

「神奈川県保健医療計画改定素案」に関するパブリックコメント 三士会にて共同要望を提出

平成24年12月17日～平成25年1月25日まで神奈川県保健医療計画改定素案に対するパブリックコメントの募集がありました。

当士会はPT士会、ST士会と共同で要望を取りまとめ提出しております。以下要望の全文と神奈川県のウェブサイトに掲載された結果を報告いたします。

(要望全文)

神奈川県保健福祉局保健医療部 医療課 調整グループ 御中 社団法人神奈川県理学療法士会 会長 秋田 裕 一般社団法人神奈川県作業療法士会 代表理事 渡邊 慎一 神奈川県言語聴覚士会 会長 鈴木 恵子 神奈川県保健医療計画改定素案に係る意見・要望 日頃より我々3団体の活動にご理解とご鞭撻をいただき心より御礼申し上げます。 県民の健康保全と介護予防、罹患後の改善、回復、社会復帰、重症化防止に対して今やリハビリテーション専門職はなくてはならない存在と考えております。神奈川県は高齢化率の加速度的な増加が懸念され、来たる2025年問題を懸念した計画として本計画を形成することは周知のとおりであります。「県民が住み慣れた地域で健康に生活していくためには誰もが必要ときに身近な場所で適切な保健医療サービスを受けられることが重要」という県民のニーズに答えるためには、あらゆる側面から実態のあるリハビリテーション3職種を組み合わせることが必要であり、本計画に3職種を明記いただきたく下記の通り要望いたします。 記 「第2部 各論 第3章 医療従事者の確保対策の推進」 「第3節 薬剤師、その他の医療・介護従事者」において「その他の医療・介護従事者」と表現があるところに「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士」の職種を追加していただきたくお願い申し上げます。 (P81～82) 以下、各項目についての内容を記載いたします。 ① 「第3節 薬剤師、その他の医療・介護従事者」 →「第3節 薬剤師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、その他の医療・介護従事者」 ② 「1. 現状」欄に追加 (2) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ○ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は、今後、高齢者や要介護者が増加する中、心身の状況等に応じた適切なサービスを提供できるよう安定的な人材の確保と資質、専門性の向上が求められています。 ③ 「2. 課題」欄に追加 (2) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ア 専門性の向上 ○ チーム医療の推進には、専門性の高い医療人材の養成・育成が必要であり、専門性に関	する認定資格の取得を推進していくことが必要です。 ○ 多様化・複合化するニーズに対応するため、資質や専門性の向上、現任者に対する教育を充実する取組みが必要です。 イ 在宅医療への対応 ○ 地域医療の連携を進めるなかで、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の在宅医療への積極的な参加が必要です。 ウ 人材の養成・確保・定着の促進 ○ 急速な高齢化に伴う保健・医療・福祉サービスの需要の増加に対処していくため、人材の計画的な養成・確保・定着を図ることが必要です。 ④ 「3. 施策」欄に追加 (2) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 (県・関係団体・医療提供者) ア 専門性の向上 ○ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士については専門性に関する認定資格取得の推進を図り、教育研修を行い、保健・医療・福祉に寄与できる職能向上に取り組めます。 イ 在宅医療への対応 ○ 地域医療の連携の中で、地域保健医療に貢献できる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の養成に取り組む、在宅医療への参加を促進します。 ウ 人材の養成・確保・定着の促進 ○ 県立保健福祉大学・大学院では、連携と統合を基本とした教育と知識や技術の専門教育を行い、質の高い保健・医療・福祉の人材の養成を図ります。 ○ 県や関係団体からの修学資金の貸付けを通して、人材の確保・定着を推進します。 以上
--	--

○神奈川県ウェブサイト内

「神奈川県保健医療計画改定素案」に関する意見募集の結果について（参照）

<http://www.pref.kanagawa.jp/pub/p632791.html>

意見No228 ⇒ 意見反映区分 B

県の考え方「ご意見の趣旨は今後の取組みの参考とさせていただきます」

※意見反映区分「B」：ご意見の趣旨は今後の取組みの参考とします

今回の要望は神奈川県保健医療計画には反映されることはありませんでしたが、保健医療計画の改定は5年ごとに実施されるものであり、引き続き県の動向を注視しつつ必要な事案については県士会の要望を提出していきたいと考えております。

（文責：地域リハビリテーション部 木村）



広報部 対外広報班 活動報告

広報部対外広報班が一般県民を対象に活発に啓蒙活動を展開していることをご存知ですか？対外広報班のメンバーは、例えば医療系の学校進学を目指す学生に作業療法士の仕事や養成校の紹介をしたり、一般県民や障害がある方や家族に作業療法士の提供するサービス内容を紹介したりしています。それらの中から、対外広報班が今年度実施したいくつかの活動をご紹介します。

一般県民を対象とした企画①

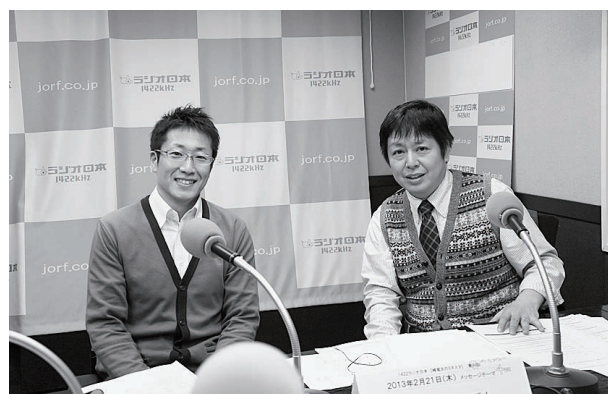
ラジオ企画『峰竜太のミネスタ』に出演しました！

前号の報告に引き続き、今回もラジオ企画の報告です。平成25年2月21日、ラジオニッポンの番組に出演しました。今回より出演番組が変更となりました。これまでの『ヨコハマろはす』から『峰竜太のミネスタ』という番組（「すこやか介護」のコーナーは変わりありません）となり、ますます聴いてくれる方が増えそうな予感です。

この企画は、ヤマシタコーポレーションさんからの依頼で一昨年度から出演を継続しており、今回で4回目の出演となります。今回は『車椅子の選び方』をテーマに、車椅子生活・介護をする方に向けた、車椅子姿勢とポジショニングについて分りやすくお話ししました。

今年度はラジオ出演を3回予定しております。AMラジオ1422KHz 木曜日10時からのコーナーです。今後も健康や介護に関するテーマを聞いてく

ださる方に向けて、「作業療法士」の立場からより分りやすく発信していきたいと思えます。テーマや、話の内容などについて県士会員の皆様からのアドバイスもお待ちしています。是非ご感想・ご意見をよろしくお願いします（^^）（文責 酒井）



一般県民を対象とした企画②

相模原初企画！『さくら祭り』にブース出展しました！

平成25年4月6日・7日の2日間、第39回相模原市民桜まつりに県士会広報ブースを出展しました。当日は昨年度リニューアルしたばかりの県士会パンフレットや自助具（ペットボトルオープナー）の配布、自助具（ボタンエイド）作製体験コーナーを設置しました。

両日ともに天候には恵まれず強い雨風の中での開催となりましたが、300名近くの方が当士会ブースに来場され、『作業療法』を紹介させていただくことができました。また、自助具作製体験コーナーでは市民の方から、「家でおいちゃんができなくて困っている。渡してみようかしら。」「リウマチの知人にプレゼントしてみるわ。」などの声が聞かれました。

相模原市での広報企画は今回が初めてとなりま

す。今回の活動を通して当事者だけでなく一般市民の方が思う“リハビリテーション”への気持ちを聞くことができました。これからも県央・県西地区を含めた広いエリアで、作業療法への関心を高めていただけるよう広報活動していきたいと思えます。

（文責 佐藤）



研修会報告：「CIセラピーの基礎」

神奈川県作業療法士会学術部主催分野別講習「CIセラピーの基礎」が3月17日に行われました。講師の田邊浩文先生（神戸大学保健学博士・認定作業療法士）は、2002年から自衛隊中央病院にてCIセラピーを実践され、2011年に日本で初めてCIセラピーを開発した米国アラバマ大学（UAB）CI認定コースを履修されました。研修会には募集を大きく上回る応募を頂き、参加して頂けなかった皆様には大変申し訳なく思っております。以下に研修会の概要を報告させていただきます。

CIセラピー（Constraint-induced Movement Therapy）は中枢神経疾患に効果的な各種技法を組み合わせたパッケージセラピーです。その柱となるコンポーネントは、①麻痺手使用への拘束・一日90% ②反復-指向型課題練習・一日数時間 ③AEBM（Adherence-Enhancing Behavioral Methods）トランスファーパッケージです。通常のセラピーの期間は2週間です。

①麻痺手使用への拘束は、一日90%非麻痺手にミトンを着用し麻痺手の使用を促すものです。ミトンは非麻痺手の使用を拘束するもので、身体的な拘束を意味するものではありません。簡単に外すことができるミトンを使用することで安全性を確保します。セラピー開始初日にDAS（Daily Activity Schedule）にて対象者の一日行動を詳細に聴取し、対象者が麻痺手を使ってどうしてもできるようにしたいことを3つ程度抽出します。その後はMAL（Motor Activity Log）30項目を使用し訓練時間以外の麻痺手の使用頻度・動作の質をセラピー期間中、毎日モニタリングします。ミトンの装着についての取り決めは、対象者の日常生活を麻痺手使用による活動・両手動作による活動・非麻痺手による活動に分けて分類し、セラピーの期間中その通り行動していくことをセラピストと行動契約（BC:Behavioral Contract）して決定します。

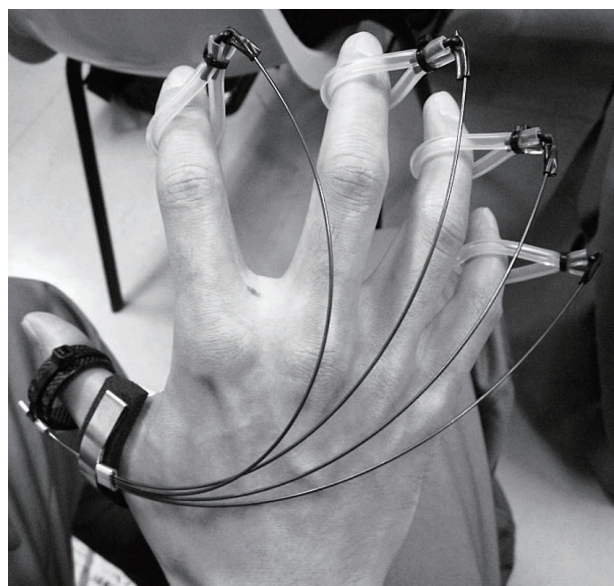
②反復-指向型課題練習は、シェーピングの技法を用いて行います。シェーピングは、DASで聴取した目標動作の獲得に向けた集中的な麻痺手の訓練です。段階付を行いながら実施し、機能改善が得られると課題の難易度を増していきます。課題は30秒程度のタイムトライアルを10回1セット行い、その都度フィードバックを行います。その際、セラピストは対象者を上手に褒めることが重要です。ファンクショナルNIRSを用いた検証ではタイムトライアルを行うと従来の作業課題を行ったときと比較して大きな脳の活性が得られ、2週間のセラピー終了後には作業遂行時の活性部位が定着します。つまり脳機能のマッピングの変化が起こります。

③AEBM・トランスファーパッケージは、日常生活場面で麻痺手の使用を増やし、課題練習で得られた機能回復を生活場面へ汎化させる行動療法です。AEBM（固執動作の改善）は、トランスファーパッケージという一連のテクニック（BC,MALを用いたモニタリングなど）を用いて行います。

CIセラピーの適応グレードは、1：テニスボール操作可能（日常での麻痺手使用 $\geq 50\%$ MALav ≥ 2.5 ）・2：テニスボール操作可能（日常での麻痺手使用 $\leq 50\%$ MALav ≤ 2.5 ）・3：ゴルフボール操作可能・4：手ぬぐいをつかみはなすことが可能・5：手ぬぐいをつかみはなすことが不可能の5段階です。CIセラピーは通常グレード2・3の対象者に実施されます。自衛隊中央病院ではグレード2・3の対象者では、STEFが平均60点以上の回復が認められ、グレード4・5についても実績を残しています。グレード4・5の対象者への実施に際し、ハンドリング・痙性減弱手技や、田邊先生が独自に開発された「伸展アシストスプリント」（写真）を使った症例の紹介もありました。

今回は田邊先生に無理に申し上げて短い時間での講義をお願いしました。今後この続きとなるような研修も学術部で企画していきたいと考えております。田邊先生には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

新戸塚病院 片岡直人（学術部）



伸展アシストスプリント

開催報告：「自助具をつくろう」

福祉用具委員会では平成21年度より4年連続して自助具をテーマにした講習会を開催してきた。第一回（平成21年度）は座学中心の内容であり、第二回（平成22年度）、第三回（平成23年度）は、午前座学、午後実技の形式で講習会を開催した。第二回の講習会以降、かながわ自助具工房との共催での講習会となり、自助具製作指導は自助具工房のベテランのボランティアスタッフが担当している。昨年の第4回（平成24年度）は新たな試みとして、平成24年11月から翌年の3月まで毎月一回の頻度で合計五回の自助具講習会を開催した。内容を実技のみに絞り、毎月違った自助具を二点ずつ製作していただいた。この年の講習会は毎回定員以上の申し込みがあり盛況であった。現在、作業療法士が手作りで自助具を製作する機会は昔に比べて減っている。理由は市販の自助具が増えた事であり、ネット通販で手軽に購入でき、また100円ショップでも安価に自助具を購入できる時代となった。これは決して悪い事ではなく、利用者にとっては利便性が高く、破損した場合にも容易に買い替えができる。



かながわ自助具工房のボランティアスタッフと記念撮影

また作業療法士が業務終了後に残業をして自助具を作らなくても良くなった。しかしその一方で若手の作業療法士の自助具製作の機会が減り、工作技術や知識が身に付きにくくなっている現状がある。日々の臨床では個別性の高いニーズに応じるには市販の自助具では適応できないケースも多く、OTがアイデアを絞り出しその方の作業目標を獲得するために自助具を開発、製作する機会は少なくはない。今年度も皆さんのアイデアを具現化するための工作技術を学べる機会を提供するために自助具講習会を企画中である。当委員会の活動が最終的にはOTの対象となった方の笑顔に繋がる事を願っている。

文責：木下剛（福祉用具委員会）

福祉用具相談支援システムの紹介

皆様はじめまして。神奈川県相談アドバイザーの村越、沼田、田畑です。私達もOTです！

福祉用具相談支援システムについて、県士会の皆様には一月にチラシが配布されたことと思います。見ていただけましたでしょうか？また、登録はされましたか？再度、福祉用具相談支援システムってなんなの？という点をご紹介します。簡単に説明すると、会員の皆様からの質問を神奈川県相談アドバイザーの私たちが、Web（インターネット）を通して福祉用具に関する相談に答えるものです。

このシステムの良い点を紹介したいと思います。それは、一人職場の方などや、経験年数が少ない職場の方などが、気軽に第三者の意見・アドバイスを聞いてみたい！という方々に、是非オススメしたいと思っています。

「ただ、相談してみたいんだけど、初回投稿フォームはすべて記入しなければいけないの？相談したいけど、細かく書くのは面倒くさいよ。」と思う方もいらっしゃるのかなと思います。これは、必須事項のみでも大丈夫です。以下の事項のみ必須となりますが、他は未記入でもかまいません。（必須事項：相談タイトル、主な相談キーワード、相談事項、緊急性の有無、相談事項詳細等の項目があります。）まずは、ザックリした質問でも構いません。

また、「こんな質問（簡単な？関係なさそうな？）しちゃっていいのかな？事例（患者さん、利用者さん）に基づく質問しか受け付けてくれないのかな？」という点もあると思います。これは、事例に基づかなくても結構です。例として、「こんな福祉用具ありませんか？」「介護保険では利用できますか？」など、幅広く様々な問い合わせ・質問を受け付けています。

最後ですが、患者さんの生活をサポートするために、大きな力を発揮する福祉用具たち。OTにとっては強力な武器の一つです。でも、数ある製品を患者さんの状況に応じて使いこなすのは至難の業ですね・・・「誰かに相談してみたい！」「もっとよい支援を考えたい！」「何かいい製品はないかな？」そんな困ったときは、気軽に福祉用具相談支援システムを気軽に利用してみてください！

文責：沼田一恵（福祉用具委員会）

S I G 紹介

脳外傷の作業療法研究会

脳外傷者へのリハビリテーションは、身体機能や高次脳機能障害といった様々な重複障害により、臨床での支援技術には多様性が求められます。病院から在宅生活にかけて長い経過を辿り、医療から福祉分野にかけて様々な職種が関わります。また医学的リハ段階、生活リハ段階、職業リハ段階と、各時期に応じてアプローチする課題も変化していきます。当研究会は、多職種が関わる脳外傷のリハビリテーションの中でOTの専門性を模索する中で発足し、脳外傷者の心身機能や日常活動を治療・支援する技術を高め、実践者のネットワーク作りを目的に活動しています。昨年は医学的時期のリハビリテーションをテーマに2日間の講習会を開催しました。内容は病院での関わりとして神奈川リハビリテーション病院での取り組みを紹介し、退院後の生活を知る上で、地域で高次脳機能障害者を支援している方々を外部講師として招いてご講義いただきました（詳しくは研究会HPを御参考ください）。受講生からのアンケートでは、日々のアプローチに悩ん



でいた方が多く、一人で悩まずチームの中で関わることの重要性を感じていただけたようです。今後も、日常の臨床活動の成果を情報発信できるように実技形式の講習会を年に一回開催予定です。脳外傷の作業療法にご興味のある方はぜひ御参加ください。

川崎市南部地区リハビリテーション連絡会

本会は、「臨床の疑問は地域にいるセラピストと解決。また専門職間の交流を通じて、地域へ情報発信し、リハビリテーションをより良く地域の方に活用してもらう」を目的に掲げ、地域医療発展のため熱き心をもった会員が活動しています。本会には、川崎市南部地区（川崎区・幸区・中原区）に勤務する関連職種（PT・OT・ST等）130名が在籍し、役員13名が中心となり、講演会、勉強会、症例検討会を企画し、年3～4回開催しています。身近な先輩セラピストの症例発表や、意見交換を行う事で、明日の診療に生かせる内容となっています。仕事終わりの疲れた中皆様に、ホッと一息、肩肘の張らない語らいの時間を提供する、まさに「カフェのような」！をコンセプトに開催し、情報交流の場となっています。今後は、OT小集団での自助具作成、福祉用具の体験等の勉強会を実施し知識と交流を深めていく予定です。

さらに川崎南部地区のリハ施設・病院及びサービ

ス内容についてのリハビリテーションマップを作成し、各院所・施設の連携機関、他職種にプレゼンテーションを実施。修正・改善を図り2013年度web上に掲載予定です。今後川崎南部地区ネットワーク構築へ向け活動を継続していきます。



実践！！発達OTミーティングin京都

主催：実践！！発達OTミーティング
 日時：2013年7月13日(土)・14日(日)
 場所：宇治市生涯学習センター
 〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45-14
 内容：ゲスト：松本 茂樹氏（大阪発達総合療育センター）
 嶋谷 和之氏（大阪市更生療育センター）
 内容：発達領域に携わる作業療法士が集い、臨床を共に
 見つめる参加型プログラム
 対象：発達領域に携わる作業療法士を主な対象とする。
 参加費：両日2500円、1日2000円を予定
 定員：約180名
 申込み方法：kyoto_otm_2013@yahoo.co.jp へPC-mailからお
 申込みください。
 申込み締切：2013年5月31日(金)
 生涯教育ポイント：なし
 問い合わせ：kyoto_otm_2013@yahoo.co.jp
 備考：詳細：http://www.bbm-k.jp/~tou-chan/index.html
 (HPアドレス)

第38回日本リハビリテーション工学協会

車いすSIG講習会 in 福岡
 日程：2013年8月20日(火)～21日(水)
 主催：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG
 共催：一般社団法人日本車椅子シーティング協会
 会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）
 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1
 定員：下記講習内容参照（先着順）
 参加費：12,000円・14,000円・16,000円・20,000円
 （加盟団体等により異なります）
 内容：（コース選択制、各コース定員40名）
 A「高齢者・片麻痺者の車椅子～標準型車椅子の工夫と限界～」
 B「高齢者・片麻痺者の車椅子～車椅子の調整機能活用術～」
 C「アクティブユーザーから学ぶ車椅子
 ～活動を広げる車椅子の調整、調節、操作テクニック～」
 ※社団法人日本作業療法士協会「生涯教育制度」基礎ポ
 イント対象研修会（予定）
 申込み締切：7月12日(金)（定員になり次第受付を終了させて
 いただきます）

※講習会情報詳細を6月中旬頃、下記ホームページに掲載
 後、受付開始予定です（車いすSIGメンバー（会員）の優
 先受付期間あり）。申込書をプリントアウトの上、FAXに
 てお申し込みください。なお参加費は事前振込制とさせ
 ていただいております。申込書受理後参加費請求書をお
 送りいたします。

車いすSIG講習会事務局 担当：深野栄子
 〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田2-7-20
 TEL. 045-353-8364 FAX. 045-353-8365
 http://www.wheelchair-sig.jp

脳血管障害の作業療法

主催：神奈川県リハビリテーション支援センター
 日時：平成25年6月1日(土) 9:30～16:30
 場所：七沢リハビリテーション病院脳血管センター
 作業療法室
 内容：この研修は、作業療法士を対象に成人片麻痺者の
 障害像を理解することおよび、ハンドリングを通
 しての評価と治療を学ぶことを目的として開催し
 ます。
 対象：作業療法士
 参加費：3000円
 定員：16名
 申込み方法：神奈川県リハビリテーション支援センター
 ホームページ
 http://www.chiiki-shien-hp.kanagawa-rehab.or.jp
 申込み締切：定員になり次第締め切ります。
 生涯教育ポイント：1
 問い合わせ：神奈川県リハビリテーション支援センター
 tel：046-249-2602 FAX：046-249-2601
 MAIL：chiiki-shien@kanagawa-rehab.or.jp

重度身体障がいの方への在宅就労支援

主催：神奈川県リハビリテーション支援センター
 日時：5月18日(土) 10:00～16:00
 場所：神奈川リハビリテーション病院 2階研修室
 内容：頸髄損傷や神経難病などによる重度身体障がい
 の方の在宅就労をテーマに開催します。重度身体障
 がいの方が就労するには、医学面、身体機能面、
 社会生活面などが安定していることが前提であり、
 さまざまな課題を解決するためには多職種の関わり

りと連携が必要となります。在宅就労支援の実際
 を専門職、当事者の話を通じて学びます。

対象：医療・相談・就労支援従事者・当事者等
 参加費：3000円
 定員：40名
 申込み方法：神奈川県リハビリテーション支援センター
 ホームページ
 HTTP://www.chiiki-shien-hp.kanagawa-rehab.or.jp
 よりお申し込みください。
 申込み締切：定員になり次第締め切ります。
 生涯教育ポイント：1
 問い合わせ：神奈川県リハビリテーション支援センター
 tel：046-249-2602 FAX：046-249-2601
 MAIL：chiiki-shien@kanagawa-rehab.or.jp

変形性膝関節症に対する理学療法

～リアライン・コンセプトに基づく徒手療法、運動療法、
 補装具療法の「OA膝」への適用～【実技編】

主催：療法士.com
 日時：2013年7月7日(日) 10:00～16:20
 場所：損保会館 502-503
 内容：講師：蒲田 和芳 先生
 対象：同テーマにおける向上心、研究心のある方にはは
 非ともお勧めです！
 参加費：10000円（6月7日まで。以降は12000円）
 定員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申し込みください。
 http://ryouhou.com/
 申込み締切：2013年7月4日(木)までお申し込みを受付い
 たします。定員締切の場合はその時点で締め切
 ります。
 生涯教育ポイント：なし
 問い合わせ：info@ryouhou.com

若手療法士のための動作分析と臨床推論 -体幹編-

主催：療法士.com
 日時：2013年7月28日(日) 10:00～16:20
 場所：日本青年館ホテル 中ホール
 内容：講師：石井 慎一郎 先生

膝スポーツ整形外科疾患に対する理学療法～機能解剖学 に基づく効果的な運動療法～

主催：療法士.com
 日時：2013年7月28日(日) 10:00～16:20
 場所：LMJ東京研修センター 5階特大会議室
 内容：講師：今屋 健 先生
 対象：同テーマにおける向上心、研究心のある方にはは
 非ともお勧めです！
 参加費：10000円（6月28日まで。以降は12000円）
 定員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申し込みください。
 http://ryouhou.com/
 申込み締切：2013年7月25日(木)までお申し込みを受付いた
 します。定員締切の場合はその時点で締め切
 ります。

拘縮予防のリハビリテーション ～高齢者分野での実践 例～

主催：療法士.com
 日時：2013年7月14日(日) 10:00～16:20
 場所：LMJ東京研修センター 5階特大会議室
 内容：講師：田中 義行 先生

バランスの評価と理学療法の基本的な考え方

主催：療法士.com
 日時：2013年7月14日(日) 10:00～16:20
 場所：日本教育会館
 内容：講師：望月 久 先生
 対象：同テーマにおける向上心、研究心のある方にはは
 非ともお勧めです！
 参加費：10000円（6月14日まで。以降は12000円）
 定員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申し込みください。
 http://ryouhou.com/
 申込み締切：2013年7月11日(木)までお申し込みを受付いた
 します。定員締切の場合はその時点で締め切
 ります。

若手療法士のためのシーティング入門 -座位の運動学と 評価方法-

主催：療法士.com
 日時：2013年7月13日(土) 10:00～16:20
 場所：LMJ東京研修センター 5階特大会議室

内 容：講師：木之瀬 隆 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10000円（6月13日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年7月10日(水)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。

③ 股関節の理学療法～レントゲン画像と徒手での股関節形態評価と他関節部位との関連も考慮した運動療法～

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月30日(日) 10:00～16:20
 場 所：LMJ東京研修センター 2階特大会議室
 内 容：講師：永井 聡 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10000円（5月30日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年6月27日(木)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。

③ 『脳卒中患者に対する機能的運動課題達成のための治療戦略—最新の脳科学の知見に基づいた理学療法介入—』

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月23日(日) 10:00～16:20
 場 所：LMJ東京研修センター 2階特大会議室
 内 容：講師：潮見 泰蔵 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10000円（5月23日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）

④ 『朝から徹底実技！呼吸のフィジカルアセスメント』～楽になる楽しい呼吸リハビリテーション入門-実技編-～

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月23日(日) 10:00～16:20
 場 所：全林野会館 604会議室
 内 容：講師：佐野 裕子 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：13000円（5月23日まで。以降は15000円）
 定 員：50名
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年6月20日(木)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。
 生涯教育ポイント：なし
 問い合わせ：info@ryouhou.com

④ 若手療法士のための動作分析と臨床推論 -起居動作編-

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月16日(日) 10:00～16:20
 場 所：日本青年館ホテル 国際ホール
 内 容：講師：石井 慎一郎 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！

④ 若手療法士のための姿勢制御の評価と治療のポイント

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月16日(日) 10:00～16:20
 場 所：日本青年館ホテル 中ホール
 内 容：講師：福井 勉 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10000円（5月16日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年6月13日(木)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。

④ 肩と肘のリハビリテーション ～若手療法士のための肩・肘関節の評価法を中心に～

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月9日(日) 10:00～16:20

場 所：LMJ東京研修センター 5階特大会室
 内 容：講師：久保田 正一 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10000円（5月9日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年6月6日(木)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。

④ 変形性膝関節症に対する理学療法 ～リアライン・コンセプトに基づく治療により確実に即時効果を得て正常歩行を獲得する方法～

主 催：療法士.com
 日 時：2013年6月9日(日)10:00～16:20
 場 所：損保会館
 内 容：講師：蒲田 和芳 先生
 対 象：同テーマにおける向上心、研究心のある方には是非ともお勧めです！
 参加費：10,000円（5月9日まで。以降は12000円）
 定 員：100名（予定）
 申込み方法：療法士.comホームページよりお申し込みください。
<http://ryouhou.com/>
 申込み締切：2013年6月6日(木)までお申し込みを受付いたします。定員締切の場合はその時点で締め切ります。

生涯教育ポイント：なし

問い合わせ：info@ryouhou.com

④ 2013年度神奈川県活動分析研究大会 演題募集

主 催：神奈川県活動分析研究会
 日 時：2013年12月8日(日)
 場 所：横浜市立大学附属病院
 募集対象：神奈川県内に勤務するPT・OT・ST
 募集条件：2013年12月8日(日)の2013年度神奈川県活動分析研究大会に参加できる方
 神奈川県活動分析研究会ホームページよりお申し込みください。

ご不明な点などはお気軽に事務局まで電話でご連絡下さい。

お問い合わせ：神奈川県活動分析研究会事務局

茅ヶ崎新北陵病院 リハビリテーション科

作業療法士 佐藤靖伸

理学療法士 橋本賢次郎

TEL（代表）：0467-53-4111（17:15以降）

Mail：k_katsubun@yahoo.co.jp

④ 行動リハビリテーション研究会 第二回年次大会

主 催：行動リハビリテーション研究会
 日 時：2013年6月16日(日)
 場 所：慶應義塾大学三田キャンパス 西館1F 516教室
 内 容：1. 基調講演：行動リハビリテーションを臨床現場でどう活用するか？乳幼児発達支援から高齢者介護まで
 2. パネルディスカッション：行動リハビリテーションの発展
 3. 招待講演・研究発表（詳細についてはHPに追って記載します）
 大会終了後に懇親会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

行動リハビリテーション研究会HP

<http://www.koudo-reha.com/>

対 象：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、学生

参加費：会員3,000円 非会員8,000円

定 員：

申込み方法：E-mail kensyu@koudo-reha.comにてお申込みください。

タイトル「6月16日年次大会申し込み」

①氏名、②所属、③電話番号、④E-mailアドレス、⑤会員・非会員の別、⑥職種（PT参加者は協会会員番号もご記入下さい）⑦参加会場（北海道・東京）、⑧懇親会参加の可否を明記してください。

申込み締切：

生涯教育ポイント：日本作業療法士協会障害教育基礎1ポイント

問い合わせ：行動リハビリテーション研究会事務局
 kensyu@koudo-reha.com

事務局より重要なお知らせ

**勤務先の変更・県内外への転入・転出等の際には事務局へ必ずご一報を！
「登録内容の変更届」の提出がないと、継続して県士会からの郵便物が
皆様のお手元に届きません！**

*会員の皆様のお手元に確実に県士会ニュースや県士会からのお知らせが届くよう、改姓・勤務先変更・現住所の変更などが生じた場合には必ず「登録内容の変更届」を県士会事務局へご提出をお願い致します。(OT協会のみ住所変更等の届けを提出されても県士会の登録内容は自動的に変更にはなりません)

*また退会される場合には必ず「退会届」を県士会事務局へご提出下さい。

(転勤先その他県士会等やOT協会のみに入会届けをされても神奈川県士会は、自動的に退会にはなりません。神奈川県士会の退会手続きが済んでいないと年会費の支払い義務が生じますのでご注意ください)

〈提出方法〉届け用紙を県士会HPよりダウンロードして印刷し、必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送でご提出下さい。また印刷ができない場合は用紙をお送りしますので事務局へご連絡下さい。

〈送り先〉一般社団法人神奈川県作業療法士会 事務局

〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301

TEL & FAX 045-663-5997

<http://kana-ot.jp/>



求人

作業療法士オープニングスタッフ募集

平成26年5月、川崎市に初めて認知症疾患専門病院をオープン致します。認知症専門病院として介護や福祉と連携し、早期復帰を目指した全国に誇れる新しい病院を一緒に創っていきませんか。

施設概要 病床数300床(全認知症専門病床)
認知症デイ・ケア
募集人員 常勤 10名(オープニングスタッフ)
給 与 当院規定により優遇致します。
昇給年1回 賞与年2回
勤務時間 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30 ※予定
休 日 日・祝・土(午後)、1週40時間内による
病院指定休、年末年始等
応募方法 電話連絡の上、履歴書(写真貼付)、免許証(写)
を下記準備室まで郵送ください。
アクセス 東急田園都市線たまプラーザ駅、溝の口駅
小田急線柿生駅、新百合ヶ丘駅等からバス
バス停より徒歩1分
※田園都市線あざみの駅より職員送迎バス予定
担 当 者 開設準備室事務長 国井 弘 善
〒222-0011 横浜市港北区菊名4-3-11
横浜メディカルグループ本部
電話 045 (430) 5445
FAX 045 (401) 2640
E-Mail kunii@ymg.gr.jp

医療法人花咲会 かわさき記念病院
〒216-0013 川崎市宮前区潮見台20-1
<http://www.kkh.ne.jp>

県士会メディア掲載のご案内
(求人情報 講習会・研修会)

一般社団法人神奈川県作業療法士会では、すべての会員の手元に郵送される「県士会ニュース」とインターネット上で展開している「県士会サイト」の2つのメディアを運営しています。

「県士会ニュース」、「県士会サイト」とともに、会員や県民の方々へ有益な情報を発信するため、会員や関連職種、関連団体などからの記事掲載の依頼を受け付けております。

情報の発信をご検討している方は、下記アドレスをご覧ください。

一般社団法人神奈川県作業療法士会ウェブサイト(県士会メディア)

<http://kana-ot.jp/media.htm>

そして、発信したい情報の種類・対象・時期などから「県士会ニュース」向きか、「県士会サイト」向きか、それとも両方とも向いているか、ご判断いただき、それぞれの依頼方法を確認していただき掲載依頼を行って下さい。基本的には両方のメディアへ掲載をご検討下さい。

会費納入方法変更について

神奈川県作業療法士会では今年度より会費納入方法が「銀行口座からの引落とし」へ変更になりました。

今年度については銀行口座引落としと郵便振替の会費納入額は同額としますが、平成26年度より郵便振替を利用する方に対し、郵送料や事務経費を800円上乗せした金額を請求させていただきます（平成25年2月理事会承認）。

口座引落としを利用することで、会員の会費納入の手間を省けると同時に会費徴収にかかる経費を年間40万円以上削減することができます。また、年度初めに会費を回収することにより県土会活動費を早期に確保し、安定的な活動が提供できるようになるというメリットがあります。（平成24年7月12日理事会承認）。

＜今後のスケジュールについて＞

すでにみなさまに送付してある銀行口座引落としの書類を事務局まで提出してください。なお、まだ手続きの済んでいない会員には、4月下旬～5月上旬に再度書類を送付致します。

引落としの日程は以下の通りとなります。改めてのお知らせは致しませんのでご了承ください。残高などの関係で引落としができなかった場合には、翌月の引落としとなります。

平成25年6月18日までに書類が提出された場合：8月5日に引落とし

平成25年7月16日までに書類が提出された場合：9月4日に引落とし

※これ以降の日程については確定し次第、お知らせ致します。

＜会費の「銀行口座引き落とし」Q&A＞

1. なぜコンビニ決済から銀行口座引き落としにするのか？

毎年の会費納入の手間が省けることや経費削減（年間40万以上）、運営費を安定的に確保することなどが目的です。

2. いつ決まったのか？

これまでも検討を続けていましたが、平成24年7月12日の理事会で承認されました。

3. 口座引落としの手続きをしなかった場合は？

基本的にはすべての会員に銀行口座引き落としを利用していただきたいと思います。なお、書類が提出いただけない場合には郵便振替のみで対応致します。平成26年度以降については、銀行口座引落としを利用されない会員には郵送料や事務経費を合わせた800円を上乗せした金額を請求致します。コンビニ決済との併用は費用の関係で実施できません。なお、新入会員については入会手続き時に銀行引落としの手続きをしていただきます。

4. 個人情報の扱いは？

みなさまから提出いただいた関係書類は鍵のかかる場所で保管し、細心の注意を払います。また、横浜銀行関内支店の貸金庫の利用を検討しています。

広報部ニュース編集班からのお詫びと訂正

県土会ニュース160号の記事の一部の表記に誤りがありました。4ページ、「ロンドンパラリンピック出場選手にインタビュー」にてご協力いただいた方の氏名は『加藤有紀さん』ではなく、正しくは『加藤有希さん』です。たいへん申し訳ありませんでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

第14回神奈川県作業療法学会が大盛況のなか幕を閉じた。「つなげよう過去から未来へ」をテーマに、神奈川県の作業療法発展に寄与した先駆者とともに、その歩んできた歴史を紡ぎながら、未来の作業療法を創造する熱意にあふれた若い世代のエネルギーが融合された素晴らしい大会となりました。来年は、第48回日本作業療法学会と第16回世界作業療法士連盟大会が、横浜市みなとみらい地区を主会場として同時開催されます。まさに未来を創造するに相応しい場ではなかろうか。私も若い世代の一人として、この機会を存分に楽しみたいと思う。(komi)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <161号> 2013年5月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊愼一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索